

9月は認知症月間です

認知症は誰にでも起こりうる身近なものです。正しく理解し、みんなで支え合う地域づくりを進めましょう。



認知症とは？

さまざまな原因により脳に変化がおこり、それまでできていたことができなくなり、生活に支障をきたした状態をいいます。

新しい認知症観とは？

認知症になってからも、一人一人ができることや、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

認知症を正しく理解しましょう

① こんなことがあったら認知症かもしれません

- ✓ 同じことを言ったり聞いたりする
- ✓ 物の名前がでてこない
- ✓ 以前と性格が変わった
- ✓ 怒りっぽくなった
- ✓ ぼーっとしていることが多くなった

② 認知症の方への接し方 対応の心得3つの「ない」

驚かせない！



- ・声かけは1人で
- ・後ろから声をかけない
- ・おだやかな話し方で

急がせない！



- ・まずは見守る
- ・余裕を持って対応

自尊心を傷つけない！



- ・やさしい口調で
- ・相手の言葉に耳を傾けて

③ 認知症かな？と思ったら相談窓口へ

「もの忘れの相談がしたい」方は、お近くの地域包括支援センターやかかりつけ医などにまずはご相談ください。



◀相談窓口について詳しくはこちらから

ロバ隊長▶
(全国キャラバン・メイト
連絡協議会公式ロゴマーク)



鹿児島県認知症 応援大使について

認知症になっても自分らしく前を向いて暮らしている姿の発信をしていただける方を「鹿児島県認知症応援大使」として委嘱し、研修・講座等での講演や自らの体験の発信など認知症の普及啓発活動を行っていただいております。

応援大使について▶



《問い合わせ先》 高齢者生き生き推進課 TEL099-286-2701

見守りと気づきで高齢者の被害を防ごう！

近年、高齢者の消費者トラブルが増えてきています。高齢者の消費者トラブルは発見が遅れ、深刻な被害につながりやすいため、周囲の気づきや声掛けが大切です。

このような相談事例が多く寄せられています

① ネット通販

- ・1回限りの購入のはずが、定期購入になっていた。
- ・粗悪品や偽物が届いた。



② 電話勧誘

- ・海産物を勧められ、断ったにもかかわらず、代引き配達で送ってきた。
- ・インターネットの通信料が安くなると言われ、光回線サービスを契約したものの、気がつくとも料金が高くなっていった。



③ 訪問販売

⚠ 分電盤の点検商法が急増しています！

- ・分電盤の点検後、不具合があると言われて交換工事の契約をしたが、本当に必要だったのか疑問。
- ・屋根の塗装、住宅リフォームを強引に勧められ、契約してしまった。

④ 特殊詐欺

- ・SNS型投資詐欺
- ・ロマンス詐欺

⚠ 高齢者に架空のもうけ話を勧誘する投資詐欺が後を絶ちません！

こんな変化はありませんか？ 気づいたら消費生活センターに相談しましょう。



見慣れない
領収書・契約書



短期間の高額出費



未使用・大量の商品



頻繁な営業電話



見慣れない人の出入り



内緒にする素振り



お金に困った様子

困ったとき、心配なときはすぐ相談！

消費者ホットライン
(局番なし) い や や!
☎188

お近くの消費生活センター等をご案内します。
※相談は無料です。

提供いただいた個人情報は、本人の同意なしに第三者に提供いたしません。



《問い合わせ先》 消費生活センター TEL: 099-224-0999